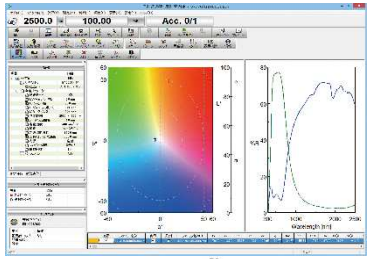
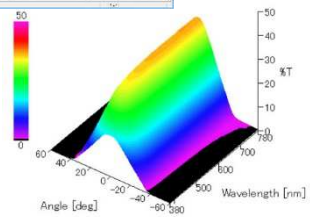
工業総合研究所所有装置

名称	紫外可視分光光度計(絶対反射率測定装置付属)	メーカ	日本分光(株)	型式	V-770DS ARMN-920 ほか	取得	H30
概要	固体試料に可視～近赤外(波長250～2000nm)光を任意の入射角で照射し、透過または反射による測定(検出器角度も可変)をすることができます。また、溶液の透過光から溶液内の溶質の濃度等を求めることができます。						
応用事例	• 反射防止膜やのぞき見防止フィルムの評価 • 板ガラスや塗膜などの日射透過率・反射率(JIS/ISO等記載項目)測定 • 布等のUPF(紫外線防止指数)、UPF等級の算出，化粧品等のSPF、PA値の算出(参考値) • 溶液内の溶質濃度の測定						
主な仕様	可視紫外近赤外分光光度計(V-770DS)　光学系:ダブルビーム方式，波長範囲:190～3200nm 絶対反射率測定装置(ARMN-920)　波長範囲:250～2000nm，検出器(積分球)内径:φ60mm						
測定時間	(準備時間＋1～600分)/個						
出力形態	画面に表示、印刷物、CSVほか						
試料の制約など	次の場合はご相談ください。 • 溶液の濃度が濃い場合 • 固体試料の大きさが、 H20×W20×t1mm未満または H70×W70×t10mm以上の場合 その他にも付属品がございます。 お気軽にご相談、お問い合わせください。						
使用料手数料	機器貸出:　1時間まで　2,550円　　2時間目以降1時間までごとに2,000円						





お問い合わせ　工業総合研究所　技術支援部
TEL: 017-728-0900, FAX: 017-728-0903　e-mail: kou_souken@aomori-itc.or.jp

○本設備は公益財団法人JKA 設備拡充補助事業により導入されました。